

(1) 単元名

第3章 日本の諸地域

(2) 本単元についてのつまずき

中学3年生の柏市学力調査の全体傾向や経年変化を見ると、「日本の諸地域」における市の平均正答率は全国の平均正答率を下回っている。今年度の問題の中では、気候で発展した酪農についての問題と資料をもとに日本の工業地帯・工業地域の工業生産についての問題につまずきが見られた。従って中学2年生で学習する日本の産業における特色をしっかりと抑える必要がある。

(3) 実態解消に向けた指導例

学習指導要領との関連

○地域の諸事象や地域的特色を理解する(地理的分野の目標【知識・技能】)

主体的・対話的で深い学びにつながるように、【見出す】→【自分で取り組む】→【広げ深める】→【まとめあげる】のプロセスを単元計画の中に盛り込む。4つのプロセスをワンサイクルで終了させず、途中で振り返りを行うことで、新たな課題を見つけたり、さらに幅広く情報を集めたりする等、複数回サイクルを繰り返してもよい。

【見出す】

○生徒が主体的に課題を設定できるような素材と導入の入り方を工夫する。

○単元のまとめ(ゴール)も明確に示す。

「ポスターやパワーポイントやスライドにまとめ、発表する」

【自分で取り組む】

○その土地の特色と産業の結びつきに焦点を当てる。

【広げ深める】

○体験的な学習を積極的に取り入れる。本やインターネット以外で情報を収集し、自分達で調べた内容をさらに広げる。

○外部の教育団体等を活用する。

○グループ間での意見交換等も積極的に行う。

【まとめあげる】

○生徒の発表に対して、第三者から評価してもらう。

担任以外の教員や他学年の生徒等

○他者の評価から新たな課題を設定する。

(4) ICT との関連

○スライド等を活用して、発表用のプレゼン資料を作成する。

○情報収集の際、現地への見学は難しいので、端末を使って、遠方の協力者と対面式でインタビューする等の工夫が可能であれば、積極的に活用する。